

IT用をしいと感じる理由 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/361/2021_2022_IT_E7_94_A8_E8_AA_9E_E3_82_c105_361765.htm 「IT用はしい」8割以上、要因は“アルファベット”や“短”などなど...がつくと知らない用がえている——.日のように新しいサビスや“○ ○ 2.0”が世に送り出されるなか、このように感じる人も多いはず。特にIT界はその向かいのではないだろうか。例えば、やっとBlogがわかってきたら次にはRSSがしっかり待ちえているといった具合に。昨年のだが、“知らない言も使う”という人は7割を超える。インタネットコムとgooリサチが行ったによると、IT用がしいと感じる要因は、「アルファベットが多い」、「短したものが多い」、「えるスピードが速い」などであることがわかった。象は全国10代～60代のインタネットユザ1,033人。男女比は男性42.59%、女性57.41%、年分布は10代1.84%、20代20.33%、30代41.92%、40代23.23%、50代10.45%、60代2.23%。全体1,033人にIT用がしいと思うかねたところ、84.22%が「しいと思う」と回答。年でその割合が最も高かったのは50？60代（87.02%）だが、10？20代（85.59%）や30？40代（83.21%）でもさほどわからない。IT用がしい理由として、全体で多くげられたのは「アルファベットが多い」（497人）、「短したものが多い」（423人）、「えるスピードが速い」（335人）、「耳になじまない」（239人）、「周りに教えてくれる人がいない」（223人）などだ。男女では、男性は「短」に弱く（男性189人、女性234人）、女性は「アルファベット」に

弱い（男性179人、女性318人）という果も味深い。また、周りが使っているために、自分も意味を理解していないIT用を使うことはあるかねたところ、50？60代では「よくある」（20.61%）、「たまにある」（60.31%）の合が8割を超えた。20代？30代（合69.25%）や10？20代（合63.75%）でもして少ないとは言えないが、年が上がるにつれて「わからない」とは言い出しづらくなるということか。ところで、わからない用に出会った合にとる行を全体にいたところ、「べる」と回答した人は52.86%で、「そのままにする」（40.27%）を上回る。ただ、「べる」人の割合を男女で見ると、男性が61.14%であるのにし、女性は46.71%と差がいた。さらに、近よく目にするIT用についてその概要を知っているかいてみた。取り上げたのは昨年と同、「Blog」、「SNS」、「RSS」などの短された用や、「アフィリエイト」、「ポッドキャスト」「Web2.0」など比的新しい言だ。各年で最も知度が高かったのは、やはり「Blog」（前回1位）だった。それにいたのは「アフィリエイト」や「QRコード」。一方、グラフにある通り、「SNS」や「RSS」、「SEM」といったよくある“短3文字”な用は理解度が低い。また、昨年からとなっている「Web2.0」も定が味なためか、さらに理解されていないのが状だ。 小编略注:アルファベット（alphabet）字母序列 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com